

2019 度 特定非営利活動法人 日本シーティング・コンサルタント協会
通常総会議事録

開催日：平成 31 年 2 月 16 日（土）14:45～16:00

場所：赤羽北区民センターふれあい館 第 1 ホール
（東京都北区赤羽北 2-25-8-201 アクトピア北赤羽六番館 2 階）

出席理事：丸山 陽一、森田 智之、岩谷 清一、土中 伸樹、土居 道康、阿部 高家、大場 薫、
白銀 暁、芳澤 松根、杉山 真理

出席監事：江原 公洋

司 会：杉山 真理

議 長：正岡 祐次

書 記：唐木 晃一

議事録署名：川崎 勇作、南 裕二

1. 開会の言葉（副理事長：岩谷 清一）

2. 理事長挨拶（理事長 丸山 陽一）

3. 定足数報告（事務局長 中山 初代）

定款第 30 条（総会は、正会員及び専門会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会
することができない）の規定により定足数が報告された。

平成 30 年度正会員及び専門会員数 560 名（281 名以上の出席で総会成立）のうち、出
席者数は 29 名、委任状 290 名、合計 319 名、よって総会は成立した。

資料の訂正：書式第 8 号（法第 10 条関係）の“次年度分を含めた繰越金”について
誤：5,994,838 円 正：5,994,841 円

4. 議長指名

定款第 29 条により、理事長が正岡 祐次氏を指名し、任命された。

5. 議事

第 1 号議案

【平成 30 年度事業報告並びに決算の承認を求める件】

- 事務局：会員動向や理事会、総会の開催、シーティング・コンサルタント（以下、

SC) の認定について報告された。また、マイページのシステム刷新についての現状報告も行われた。

- 教育研修事業：SC 養成研修（講義編・実技編）を 4 回、会員向けセミナーとして事例検討会を 2 回（愛知、広島）、教育局会議を 2 回実施したことが報告された。
- 学術研究事業：学術研究会議を 5 回、車椅子シーティングガイドラインシステムマティックレビュー会議を 1 回、学術誌編集企画会議を 3 回開催されたことが報告された。第 14 回日本シーティング・シンポジウム（東京）では、参加者は 166 名であった。学術誌発行についての報告も行われた。
- 普及啓発事業：社会局会議を 3 回、普及事業では学会・研修会などの広報活動を行ったことが報告された。普及啓発セミナーでは、シーティングの裾野を広げ幅広く発信することを目的とした多職種セミナー「シーティングの基礎知識とその実際」（仙台）や、「発達障害領域のシーティング・セミナー」「認知症の評価・分析とシーティング」「海外シーティング・セミナー」（東京都北区）が行われたことが報告された。製品評価事業では、「商品評価セミナー～モジュラー型車椅子編～」（埼玉県越谷市）が開催された。相談事業では、「福祉用具の日」記念イベント in 仙台に、会員 1 名が参加し、4 件の相談に対応した。
- 事業会計：事業にかかる平成 30 年度会計収支決算が報告された。

【第 1 号議案に対する質疑応答】

（会員）平成 30 年度の決算額について、3 円金額が合わない。この場で確認が困難であれば、後日 HP 上に資料を公開する件、議事録に残すべきでは。

（応答）決算額の差異は、資料作成段階での何らかのエラーと考えている。この場では確認が取れない為、精査・修正した後、HP 上に総会資料修正版として公開する。議事録にもその旨を記載する。

（会員）会計財産目録について。理事局で保管していたのか、各局の理事個人がそれぞれ現金で保管していたのか？

（応答）各局の会計管理として、担当理事個人が現金で保管していた。

【第 1 号議案の採決】

平成 30 年度事業報告並びに決算の承認について採決した結果、賛成 319（委任状を含む）であり、賛成多数として承認された。

第 2 号議案

【平成 30 年度監査報告】

監事より、事業内容は適正であり、理事の職務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実がないことが報告された。また、収支計算書、貸借対照表は、帳票等の記載金額と一致し、協会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと報告された。

【第2号議案に対する質疑応答】

参加者からの質疑応答なし。

第3号議案

【平成31年度事業計画案並びに予算報告】

- 事務局：新しいマイページが完成した件、資格認定・更新について、会員各自が確認し易いように改善した件などが報告された。その他、(1) 法人の管理及び運営、会員管理及びHP、WEBシステム、MLの管理、運営(2) 理事会の開催及び運営、理事会MLの管理、運営、(3) 総会の開催、(4) SC資格認定及び資格者登録、管理、(5) 会計管理、(6) 諸規定の作成を行うことが報告された。
- 教育研修事業：今年度から新カリキュラム開始にあたり、資格取得・更新方法が変更となる。詳細は当協会ホームページに掲載されている。SC養成研修・知識編をAコース、実技編をB～Eコース、発表をFコースとして開催していく旨が報告された。H31年度事業は(1) SC養成研修Aコースを2回、実技Bコース、Eコースを各1回開催、(2) 会員向けセミナーとしての事例検討会を4回開催(3) 教育局会議を2回開催することが報告された。
- 学術研究事業：(1) 第15回シーティング・シンポジウム(東京都荒川区)の開催、(2) 研究事業として6回の会議を開催、(3) 学術誌の発行(投稿論文の査読も含む)を行うことが報告された。
- 普及啓発事業：普及啓発セミナーの内容を一新する旨が報告された。(1) 普及事業、(2) 製品評価事業として、商品評価セミナー(クッション編：埼玉県越谷市)の開催、(3) 普及啓発セミナーとして東北セミナー(仙台)、施設系セミナー(東京都北区)、在宅系セミナー(東京都北区)の開催、(4) 相談事業、(5) 社会局会議の開催および2020年度の養成校カリキュラム変更に関するアンケートの実施、が報告された。
- 平成31年度特定非営利活動に係る、事業会計収支予算書についての報告がされた。法人で使用している備品の老朽化に伴い、必要度の高いものについては、予算に計上して購入予定。

【第3号議案に対する質疑応答】

(会員)「シーティング・コンサルタント」の商標登録に向けての働きかけについて、具体的な検討事項はあるのか？

(応答) 登録分野が細かく、調査を始めたが、登録料も想定以上に掛かりそうであるため、現状では予算に余裕がない。もう少し様子を見ながら検討していきたい。

(会員) シーティング事業の再編・統一の動きがあるが、当会としてどのような動きを考えているのか。

(応答) 現段階では、他団体(テクノエイド協会)と1回の会合を実施した。今後、何らかの研修会の開催もしたいが、対象となる職種が多岐に渡る為、詳細は今後更に詰めていく。

(会員) 商標登録の件について2分野10年間程度でも10数万で可能ではないか?自力で登録の手続きを行えば必要経費は抑えられる。出来る事があれば協力したい。

(応答) 商標登録についての心強い意見に感謝したい。

(会員) 教育研修費について、資金面に不安がある。支出額が前年度より減額されている点が気がりである。備品の十数万は何か大きな物品購入に使うのか?

(応答) 支出額についてはコースの変更、事例検討会等の回数変更に伴うもの。研修会の質が落ちないように十分に配慮していく。備品購入は、体圧分布測定装置の老朽化に伴う、買換え予算(ソフトビジョン購入予定)として計上している。

(会員) 購入額が10万円以上になると、減価償却の資産の対象になるのではないか?

(応答) 理事会に持ち帰って検討する。

(会員) 学術局、シーティングガイドラインについて、車椅子シーティングの範疇(姿勢保持・移乗・移動・駆動)の全体のことなのか、その部分的なものをイメージしているのか、それらを検討する委員会の設置を検討してはどうか?車椅子シーティングガイドライン作成委員会を作成し、会員外、他分野の委員を受け入れるのはどうか。

(応答) シーティングガイドラインには上述の全てを含むものとする。ガイドライン発行は、作成委員会から理事会へ提出・承認を経て発効される。学術局がガイドライン作成委員会を兼務している。外部委員については、一通りの作成手続きが済んだ後、外部評価の過程を設けている。5団体に規定の評価手法に基づいて評価を依頼した。更に、それとは別にガイドライン作成の専門家にも外部評価を依頼している。

(会員) セミナーの普及啓発について。セミナー開催だけでなく、違う分野にも(他団体との共同事業等)移乗・移動・駆動について、ロボットテクノロジー等の先進分野とシーティングコンサルタントとの共同企画を考えてはどうか?

(応答) 現在セミナーの形を変え、①一方的な講義スタイルからの脱却、②ネットワークづくりや全国展開できる活動の場の作成、③北とびあ以外の全国の会場でのセミナー開催、などを検討している。他団体との連携については、まず身近なネットワークを構築するところから、徐々に外部との共同事業へと発展させていきたい。

(会員) 関係団体との関連について。持ち上げない介助、ノーリフト介助を進める団体と連携をとって、移乗した後のことも含め、より実用的・現場で生かせる内容を重視した事業を検討してはどうか。

(応答) 他団体・他職種の間で、上述の件での懸案事項等を吸い上げて、前向きに対応していきたい。

(会員) 他職種 (介護分野・家族等) に「シーティングをして欲しい」と思ってもらえるよう裾野を広げた、もう少し一般 (PTOT 以外) の方を対象にした普及啓発活動を行ってはどうか？

(会員) 意識の高い他職種は多いと感じている。シーティング・コンサルタントの資格を抜きにしても参加を望む声は多い。シーティングを取り巻く社会情勢も協会設立時とは変わってきており、今後も前向き且つ長期的に考えていきたい。

6. 閉会のことば (副理事長 森田 智之)

議事録署名人

住所

氏名 川崎 勇作



住所

氏名 南 裕二



